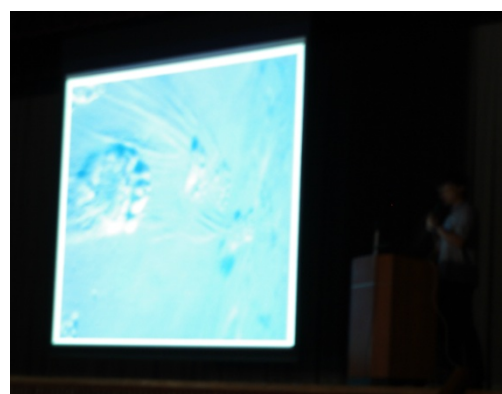


《 プロジェクトH I T Aプラン ～挑戦する生き方を学ぶ講演会～ 》
平成25年10月3日（木曜日）

今回、大分県『芯の通った学校組織』推進プランの支援を頂き、探検家でノンフィクション作家の角幡唯介さんをお招きし、「冒険的人生のすすめ」というテーマで北極を旅した時のエピソードを写真とともにご講演していただきました。2011年に1,600kmの北極圏を103日で踏査した角幡さん。冒険家と呼ばれることが多くなったけれど自身は作家という仕事を一番大切に考えているそうです。「何かをすることに究極的には意味を見出すことはできないが、人生を生きることと同じ意味が旅にはある。」と型にとらわれない生き方をなぜするようになったのか、幼少期の頃を振り返りながら話して下さいました。



北極での旅の苦勞や工夫を話して下さいる角幡さん。



こちらはテントを揺すった熊の足跡。



真剣に講演を聴いている生徒の様子。



質疑：旅から帰ってきて変化がありましたか？



応答：生の中に死を取り込む感覚を味わいました



生徒会長の謝辞